

市民と歩む議員の会

議会報告 いけぶち佐知子



発行：「市民と歩む議員の会」 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40（市議会内） TEL：06-6384-1390（会派控室） 2020.07 No.62 【通巻133】

■ 2020年度も新たな気持ちで頑張ります

5月定例会では、まず議会の役職を決める役選がありました。いろいろありましたが（なかなか、説明が難しいことがありました）結果として市民と歩む議員の会では、以下のように役職が決まりましたのでご報告します。

いけぶち佐知子（建設環境委員会・分科会委員、防災・減災等対策委員会委員、大阪広域水道企業団議会議員）

いそがわ ゆか（文教市民委員会・分科会委員長、議会運営委員会委員、環境審議会委員）

馬場慶次郎（健康福祉委員会・分科会委員、議会運営委員会小協議会委員、議会広報委員会委員、都市計画審議会委員）



■ 5月定例会 一般会計補正予算 討論（馬場議員）

■ 農業委員会委員の任命 討論（いけぶち）

○ 一般会計補正予算（第5号・第6号）

中核市に移行しなければ府の負担となり、吹田市の負担とならなかったものが複数含まれている。

非常用自家発電設備設置補助 **412万円**

かかり増し経費の一部補助

介護サービス事業所分 **1,219万円**

障がい福祉サービス事業所分 **147万円**

費用負担は中核市移行のデメリットであるが、保健所が吹田市になったことで福祉行政の推進上、費用負担に勝るメリット感じているとの答弁があった。

しかし、保健所の活動内容について、市民に十分伝わっておらず、**中核市移行のメリットを披露**することができていない。

保健所設置によって得られた情報や保健所長からのアドバイスを施策展開においてどのように活用できたのか、各部で整理し、ぜひ市民に対して明示することを求める。

○ 一般会計補正予算（第7号）

保育士等に対する実施指導や研修を行うための研修受講費補助について、希望する事業者が感染症対策に取り組むことができるよう市の人脈紹介、丁寧な助言、後押しを求める。

ひとり親家庭への支援は、困窮する市民から直接相談を受けながら、4月の臨時会以降、何ら対策を講じなかったこと**猛省を促す**。単発的な国の支援策で終わりとせず、**市民に一番近い基礎自治体として継続的な支援**について引き続き検討を求め。

評価基準（選考基準）を公開しない理由は理屈でしかない。先進市の呉市では公募・推薦前に公表し、応募・推薦者の評価点数も公表しているが、何の苦情もないと聞いている。ぜひ、呉市をまねて公表することを求める。

議会会派の推薦を農業者等の団体推薦と同じく、**評価点10点加えるのは疑問**である。10点の加点をやめるよう求める。ただし、10点の加点がなくなると今回の候補者が変わるどうか不明であり、また候補者自身に瑕疵はない。

委員の報酬は、それぞれ月額で委員長5万4千円、副委員長5万1千円、委員4万9千円、合計1年間で**1,302万円**である。

農業委員会等に関する法律が改正され委員定数の上限が定められたがあくまでも上限である。近隣の同等市と比較しても**吹田市22名の定数は多く**、また、農林水産省からもこれまでの定数の約半分とすることを示されている。

定数の削減が必要である。

以上、「評価基準の公表」「団体推薦の推薦団体の見直し」「委員定数の削減」を今後も検討することを求める。

※ 農業委員の候補者22名中2名が議会の2会派からそれぞれ推薦された現職議員でした。

議会報告をお入用の方は、お名前、送付先などお知らせください。（P4をご覧ください）

いけぶち佐知子 ■ 本会議での質問・質疑

吹田市議会で定期的に、総合的な問題を探りあげ政策・議論を行います。

あなたも、市議会を傍聴してみませんか？
次回定例会は、9月9日～10月5日開催

感染リスクを低く、PCR検査の充実を求める

質問

感染リスクが低い唾液によるPCR検査を実施しているとのこと、PCR検査の現状と今後の見通しをお答えください。

健康医療部長

唾液によるPCR検査は、発症から9日間の唾液が有効であるという限界があり、検体採取方法を含め、検査を行うか否かは、医師が判断する。6月から、帰国者・接触者外来において導入した。PCR検査が必要な方には、地域のクリニック等身近な場所で迅速に当該検査が受けられるよう、医師会等の関係機関との協議を進めながら検査体制の充実を図る。

国からの布マスク やはり不良品が多かった

質問

国からの小・中学生へのマスクについて、汚損など検品に要した人数や時間、不備なものは国に返品したのでしょうか。

教育監

対象者の児童、生徒2万9,868人に対して2枚ずつ配布されると聞いているが、委託業者で検品されたマスクは学校単位でそれぞれに届き、本年4月下旬から6月16日までに、3万2,519枚が届いている。

汚損等の検品作業は各校の教職員が行っており、これまでに関わった人数は延べ388人、作業に要した時間は1人当たりおおむね30分から1時間程度、学校において確認した不良品の総数は553枚であった。

コメント

妊婦へのマスクは国から1,700枚届き、検品による汚損等の不良数は130枚（汚損率7.6%）とのこと。国民への布マスクも同様、そもそもの制度設計、調達リスク、配布リスク管理ができていないと思います。

新型コロナ感染症等対策基金へご寄付お願い

質問

5月臨時議会の際、議員提案で可決した新型コロナウイルス感染症対策基金について、現状をお答えください。12月22日までと期限を切ったのはなぜでしょうか。

危機管理監

6月15日時点で、34件、160万円超のお申し込みをいただいている。市外の方からも温かいご支援をいただいている。期限を設けることで寄付への賛同を高め、今年度を実施する支援事業に活用することで、支援の見える化ができると考えている。期限を過ぎた寄付も基金へ積み立てていく。

生活に困っておられる方への生活支援の状況

質問

生活保護に係る相談・決定件数、生活困窮者自立支援センターへの相談件数、社会福祉協議会を通じて申請される生活福祉資金の申請及び貸付件数、困窮する世帯へのセーフティーネットとして、今後の見通しも含めお答えください。

福祉部長

それぞれの件数は表のとおり。今後、新たな施策の効果や社会経済の順調な回復の見込みがない場合は申請件数がさらに増加するものと予想している。

生活支援の相談・申請の増加状況

	2020年3～5月	2019年3～5月
生活保護相談	534件	444件
生活保護開始決定	152件 *1	109件
生活困窮者自立支援センター相談	541件	165件
生活福祉資金申請	1,041件 *2	4件

*1：5月下旬に申請し審査中のものは除く

*2：うち716件が貸付決定

吹田アーティスト応援事業 あっという間に締め切り

質問

事業の概要をお答えください。
募集開始20分ほどで予定数を超えたため締め切られたと聞いています。先着順で決めるのではなく、集まった中から選ぶほうがよかったのではないのでしょうか。

都市魅力部長

文化振興事業の市民劇場等運営受託事業の取り組みの1つで、吹田市が進捗管理などを行い、(公財)吹田市文化振興事業団に運営委託している。プロのアーティストの1分間の動画に対して5万円の奨励金となっている。

新型コロナウイルス感染症により舞台芸術の鑑賞に制約がかかる状況下、アーティストの活動継続支援と動画を見られた方が、文化会館等の劇場での鑑賞を楽しみにしていただくために実施した。緊急事態宣言の下、事態が変化する中で、スピード感をもってタイムリーに支援を実施する必要があったため、応募動画を事前審査せず、申し込み先着順とした。

コメント

審査せずに奨励金をお渡しするのであれば先着順ではなく、一定期間中に応募された方の中から抽選で80名・団体を選ぶということも可能だったのではないかと、公平だったのではないかと、思いました。

新型コロナウイルスのため、事業見直し

質問

すいたフェスタ2020(吹田まつりの後継事業)や吹田産業フェアのように、すでに、今年度の実施をしないと決定したものはどのようなものがあり、それぞれ未執行となる予算はいくらでしょうか。

行政経営部長

すいたフェスタ2020及び吹田産業フェアの当初予算(補助金額)は1,460万円、1,070万円である。現在、事前準備に要した経費の有無や金額など、各実施団体と協議中である。

質問

いまだ、事業を実施していないものについて、今後withコロナ、afterコロナの時代になっても本当に必要な事業なのか、ゼロベースで見直していただきたいが、いかがか。

行政経営部長

経済、社会情勢の先行きが不透明な状況下であり、財政もさらに厳しい局面に向かうことが見込まれる。今後も、市民ニーズに対応できる効果的、効率的な事業を実施するため、進めるべき取組の選択と集中を図っていきたい。

不要不急の事業費を新型コロナ支援基金に積み立てよ

質問

新型コロナウイルス感染症等対策基金に対して、吹田市内外の皆様からのご寄付だけでなく、新型コロナウイルスのために実施できなかった事業などの予算を同基金に積み立てることを提案します。いかがでしょうか。

行政経営部長

同基金に寄せられた寄付金は関連する対応への財源として有効に活用していきたいと考えている。今年度の事業の中止や縮小等に伴い、執行見込みのなくなった経費を基金に積み立てるとということについては、収支の状況等を勘案して、慎重に判断する必要がある。

コメント

「収支等の状況を勘案」することは当然のことですが、執行見込みのなくなった経費をそのまま新型コロナウイルス感染症の対策や支援に横滑りさせるのではなく、いったん基金に積み立て、そして基金を取り崩すことで、お金の流れが見え、わかりやすくなるかと考えて提案しました。

今後も、しっかり、チェックしていきます。



超高齢社会になり、おくやみコーナー

質問

11月定例会の他の議員の質問(お悔みコーナーを設置してほしい)に対して、「お悔みハンドブック」(ご家族死去に伴う手続きをわかりやすくまとめたもの)を作成予定との答弁でした。いつ配布、公開されるのでしょうか。

内閣官房では、遺族ごとに必要な手続きを選び書類を作るシステム支援ナビを開発し、希望自治体への提供を始めたと聞きました。本市も希望し、導入してはいかがでしょうか。

市民部長

死亡に伴うすべての手続きを網羅したお悔みハンドブックは、現在、内容の確認を行っており、7月に市民や関係者に配布するとともに、市のホームページに掲載する予定である。

国が提供する支援ナビについては、死亡に関わる手続きをデジタル化し、1つの窓口で完結することを支援するシステムであり、市民サービスの向上に役立つ可能性があるかと認識している。各部署の手続きを統合するシステム構築についても研究していく。

コメント

残されたご遺族の方も高齢の場合、煩雑かつ多くの窓口で手続きすることは、とても大変です。ハンドブックができて、1つの窓口で手続きが終わらなければ大変なのは同じです。

国のシステムと現在の市のシステムとの相性もあるとのこと、システムを入れたために現在のシステムに不具合が生じては元も子もありません。しっかり研究、検討していただき、少しでも早く手続きが楽になるようにお願いします。

江坂の花とみどりの情報センター廃止に対する討論

委員会質疑で明らかになったことは、以下の3点。

- 1 来館者数多いが、手狭な江坂図書館の増床、拡充のため同センターの場所を利活用することについて昨年度から内部協議を進めてきた。
 - 2 廃止が議決されれば、8月から正式協議を開始する。
 - 3 同センター廃止後もインナーガーデン(屋上庭園)は土木部が使用する。屋内スペースを次の所管(図書館)に変更するまでは土木部と図書館が暫定利用する予定。最終日、同センター廃止の条例案に対し意見を述べました。
- ① 暫定利用する期間をできる限り短縮すること。
② 市内の緑被率の南北格差解消のため、今後も市内南部の緑化推進が必要である。廃止後も花とみどりの出前講座、出張相談、図書館とのコラボによる緑化関係図書の配架など、みどりのまちづくりを推進していくこと。

4月臨時会、5月臨時会の報告

4月30日開催の4月臨時会、5月15日開催の5月臨時会において、提案された新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプランに関する議案について、市民と歩む議員の会として、本会議質疑と討論を行いましたので、抜粋してご報告します。

※ いけぶちは三密回避のため議場外待機組であったことから、質疑・討論はしていません。

4月臨時会 賛成討論(馬場議員)

- ① 児童扶養手当受給世帯への5万円支給は評価するが、ひとり親世帯でも遺族年金等、**公的年金受給者**は今回の支援を受けることができない。公的年金等受給者でも、仕事に従事できず収入が減少しているという状態に変わりはない。同程度の**支給を受けることができるよう拡充**を求める。
- ② 小・中学校の給食費の無償化は、学校再開がいつになるかわからないこの時期に提案すべき事項であったのか疑問である。特に中学生で弁当持参の生徒には恩恵がなく、偏りのある施策であり、**児童・生徒を持つ家庭への普遍的な支援策**としてふさわしくない。
- ③ 以下、緊急性が高い施策として提案する。
 - ① 食事に困っている**子どもたちへの支援**（例えば、尼崎市では生活困窮世帯の児童・生徒への昼食支援、明石市ではテイクアウト・デリバリーこども食堂の取組）
 - ② **大学生への支援**（例えば、明石市は市内在住大学生支援のため、学費を一時肩代わりする支援）
 - ③ 子どもの**学ぶ権利の保障のための環境整備**（例えば、オンライン授業の充実やタブレット端末やルーターの貸し出し、自主学習対応など）
 - ④ 感染リスクに直面しつつ事業継続されている**福祉現場への支援**（例えば、尼崎市は介護サービス確保支援）
 - ⑤ **中小企業・個人事業主への支援**（例えば、西宮市は個人事業主への店舗等の賃料補助、尼崎市は賃料の緊急つなぎ資金の貸し付けの制度化）
 - ⑥ 保健所からの情報発信、独自の地域外来・検査センターの設置と**PCR検査体制の充実**。

5月臨時会 専決処分への意見(いそがわ議員)

特別定額給付金事業の委託費用について、4月臨時議会の翌日、**5月1日に専決処分**が行われた。

4月20日、総務省の事務連絡に「市町村はシス

テム改修や印刷、郵送等の準備に着手」「国の補正予算成立時期に関わらず、市町村の補正予算の早期編成、整理に向け手続きを進めていただきたい」とあった。4月臨時会に提案あるいは5月早々に臨時会開催も可能であった。よって地方自治法第179条と第180条にある首長が即決できる条件に当てはまらず、**議会は審議と議決の機会を失った**。

5月臨時会 賛成討論(いそがわ議員)

- ① 小規模事業に**応援金20万円**の支給は、条件の厳しさについて妥当性が見いだせなかった。大阪府の制度とほぼ同様であり、府と市の連携が取れていないことは明らかである。国・府・市の3つの補助金をもらえる事業者と、まったくもらえない事業者が出てくる。また、休業要請の有無によって、休業要請なしの事業者のほうが、支給額が高くなる可能性もあり、**事業者間の不公平感**は否めない。当該事業の組み換えを行い、国・府の制度で対象外となる事業者への支援に吹田市がきめ細やかに取り組んでいくよう変更を求める。また、NPO法人等が対象になっていない点も問題である。**NPO等への経済的支援策の必要性**を強く求める。
- ② 事業者向けクラウドファンディング支援は、委託料は一定額にもかかわらず、寄付額に応じて手数料額が決まる。受託者がブレーキをかけることなく、**善意の支援金**が多く集まるよう積極的に広報など努めるよう求める。
- ③ 小・中学生に**1人1台のパソコン**を導入は、教育センターから事前ヒアリングしていた内容と市長が議会運営委員会の中で発言した内容と違っていた。所管と市長等の認識の齟齬が生じたことについて反省していただきたい。
- ④ 国はすでにWi-Fi環境が整っていない家庭に対する貸与等を目的とした自治体の**LTE通信環境の整備支援**の補正予算が認められている。スピード感をもって、早急に**子どもたちの学ぶ機会の保障**を求める。
- ⑤ **医療関係機関等への支援**など、まだまだ支援の必要性は尽きない。多大な予算が必要であり、**財源確保策**も大きな課題であることを改めて指摘する。

議会報告を送付ご希望の方は
FAX(06-4861-7418)にて
お名前、送付先をお知らせください。



しっかり市民派
ずっと無党派

「市民が主役」の
住み続けたいなる
まちを創りましょう!



「市民と歩む議員の会」
いけぶち 佐知子
いそがわ ゆか
馬場 慶次郎

TEL:06-6384-1390
TEL:06-4861-7418
TEL:06-4864-2874
TEL:06-6389-8555

facebook.com/shimin10ayumu/
Mail:info@ikebuchi-sachiko.net
Mail:510yuka.suita@gmail.com
Mail:babakejiiro@gmail.com

